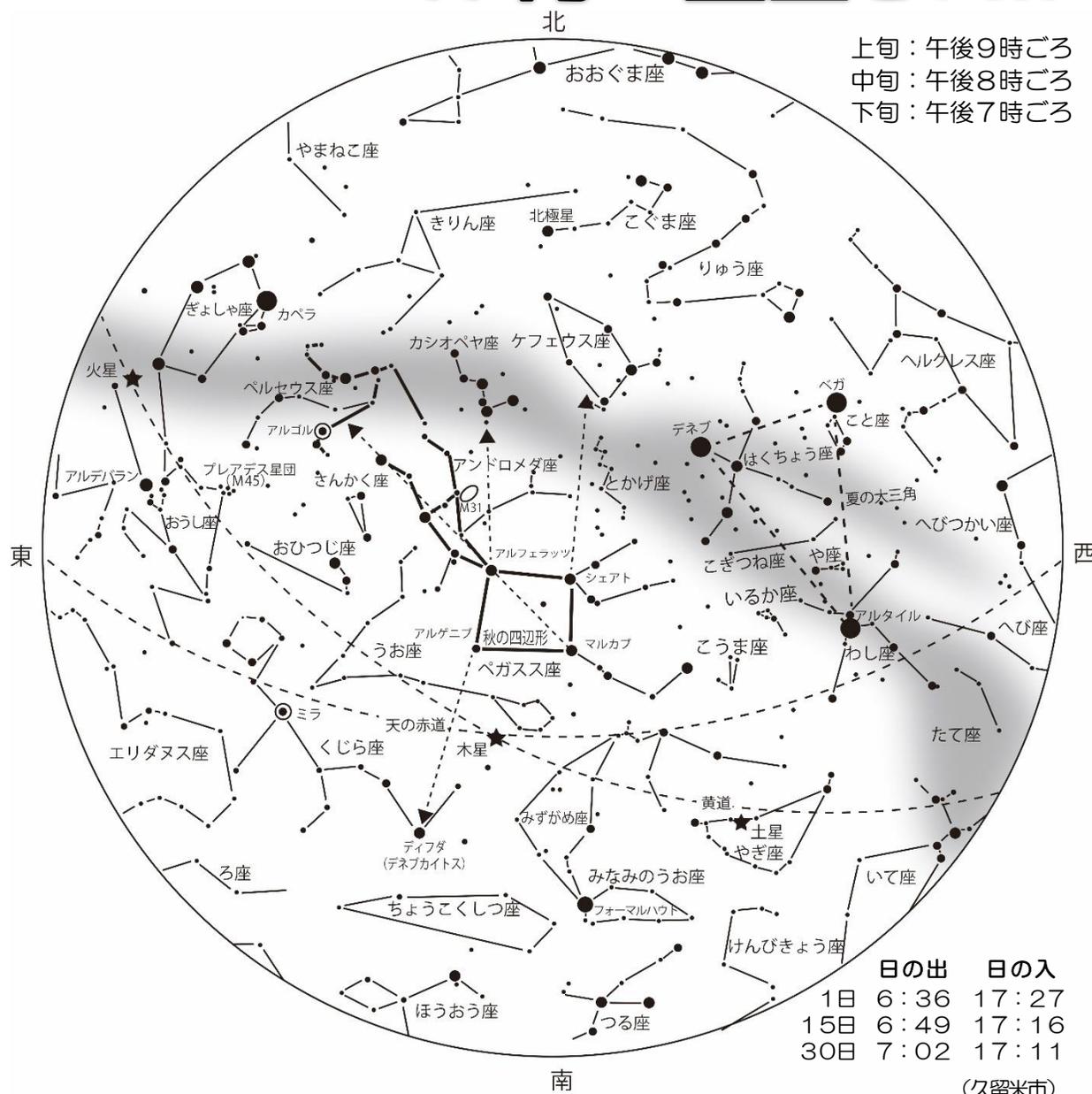


令和4年 11月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ

★11月の星空案内

秋の夜空では、ギリシャ神話「古代エチオピア王家の物語」(アンドロメダ姫を巡る物語)に出てくる登場人物が星座として輝いています。これらの星座を探すための案内役は、頭の真上付近にある同じくらいの明るさの星4つで作る四角形の星の並び『秋の四辺形』です。『秋の四辺形』はペガサス座の一部で、ペガサス座はアンドロメダ姫を助けた勇者ペルセウスが乗っていた空飛ぶ天馬が描かれています。アンドロメダ姫の星座、**アンドロメダ座**は『秋の四辺形』のアルフェラッツを頂点としたアルファベットの「A」の字のような星の並びが目印です。そして、勇者ペルセウスの星座、**ペルセウス座**はアルフェラッツとマルカブを結んだ線を北東にのばした先にある、漢字の「人」の字のような星の並びが目印です。アンドロメダ姫の父親で、古代エチオピアの王、**ケフェウス座**は、『秋の四辺形』のシェアトとマルカブを結んだ線を北にのばしていくと見つかる細長い五角形の星の並びが目印です。アンドロメダ姫の母親、**カシオペア座**は『秋の四辺形』のアルフェラッツとアルゲニブを結んだ線を北にのばしていくと見つかる、アルファベットの「W」の字のような星の並びです。そして『秋の四辺形』のアルフェラッツとアルゲニブを結んだ線を南の地平線の方へと伸ばしていくと、2等星の**ディフダ(デネブカイトス)**が見つかります。デネブカイトスには「くじらのしっぽ」という意味があり、ここにはアンドロメダ姫を襲い、勇者ペルセウスに退治されたお化けくじらの星座、**くじら座**があります。

秋の夜空で「古代エチオピア王家の物語」に登場する星座たちを探してみてもいいかもしれません。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星(-1.1等前後):おとめ→へびつかい座付近 観望に適さない。

金星(-3.9等前後):てんびん→へびつかい座付近 観望に適さない。

☆火星(-1.6等前後):おうし座付近 22時頃、東の空で明るく輝く。

☆木星(-2.7等前後):うお座付近 20時頃、南の空で一際明るく輝く。

☆土星(0.8等前後):やぎ座付近 20時頃、南西の空で輝く。

注目の天文現象(11月) ～一年半ぶりの皆既月食を楽しもう～

11月8日は、昨年5月26日以来、一年半ぶりとなる皆既月食を見ることができます。月食は、太陽と地球、月が一直線に並び、地球がつくる影を月が通過することでおこります。地球の影には、太陽の光がほぼ遮られた濃い影(本影)と本影を取り囲む薄い影(半影)があり、本影に月全体が入り込む現象を「皆既食」といいます。皆既食中は地球の大気によって屈折された波長の長い赤い光が本影に届いているため、月は赤黒い「赤銅(しゃくどう)色」と呼ばれる色に見えます。

今回の月食は、18時9分から月の一部が欠ける部分食が19時16分に皆既食が始まります。そして、20時42分に皆既食が21時49分に部分食が終わります。今回は月の高度がある程度高くなる時間帯から86分間続く皆既食を見ることができ、観察しやすいでしょう。

次に日本全土で皆既月食が見られるのは、約3年後になります。この機会に赤銅色の月を楽しんでみてはいかがでしょうか？

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	火	☾ 上弦 (15:37)	16	水	☾ 下弦 (02:15)
7	月	立冬 (19:45)	24	木	● 新月 (19:49)
8	火	○ 満月 (20:02) 皆既月食 (皆既食の始め 19:16、食の最大 19:59、皆既食の終わり 20:42)	30	水	☾ 上弦 (23:37)